

# 洋光台に今、空前の ミニ四駆 ブーム到来か



(写真上) 出走前車検を受けるトモキ選手  
 (右下) 驚異の走りを見せたトモキ選手のマンタレイMK-II(改)  
 本紙記者撮影  
 画像提供・競技会実行委員会

## トモキ選手(11)まさかの二階級制覇ならず

去る10月5日、洋光台駅前サンモール商店街「CCCラボ」にて、ミニ四駆走行競技会が開催された。ジュニアクラス(中3以下限定)を制したトモキ選手(小5)はオープンクラス(年齢無制限)にも参戦。華麗な走りで勝ち進んでいったが、決勝戦では大人の意地を見せたミス選手に敗退。トモキ選手は二冠達成はかろうじて阻止された。

台風18号の接近により参加辞退者も発生した競技会は開催自体も危ぶまれたが、結果的には実にハイレベルなレースが展開された。ジュニアクラスでは地元、洋光台在住のトモキ選手が圧倒的な実力を見せ堂々の優勝。オープンクラスでは大人げないオトナなどが容赦の無い熾烈なレースを展開したが、ここでもトモキ選手が奮戦。L A B I 上大岡5F常設コース

常連勢を相手に引けを取らないばかりか、ジャンプでの挙動制御は文句のつけようがないレベル。決勝戦まで勝ち上がったものの、最後は長周期による消耗でバランスを崩したか、コースアウトで優勝を譲る形となった。競技会実行委員長I氏は「トロフィーを二つとも持つて行かれないか青ざめた。洋光台にこのようなレースが埋もれていた

今回の走行競技会は、地域活性化のため「みによん！」の一環として行われた。「みによん！」では走行競技会の他にも10月3日〜6日の間、ミニ四駆工作教室やフリー走行会などを実施。4日間、のべ150人を超える老若男女が洋光台地区内外から訪れた。主催者の「洋光台

ことには驚きを隠せない。これからも、10年に一度の逸材を年に2〜3人は発掘したい」などと、わけのわからないことを供述していた。ジュニアクラスには、今大会でレースクイーンを務めたふうかちゃんもちゃっかり参戦。ピンク色を基調に仕上げたマッシーンは、無理に速度を上げすぎないセッティングで勝ち残っていき、なんと準優勝をキメていた。

### オトナが本気で遊ぶ姿を見せたい

駆動力学研究所代表・I氏は「オトナが本気で遊ぶ姿を地域のみなさんに見せ、人生を豊かにする材料にしてほしい」と思い企画した。L A B I 上大岡さん、アトムさんなど多くの方々の御協力により、イベントを成功できたことに感謝している。今後も開催していきたい」と語った。

「ミニ四駆とは」1982年から(株)タミヤが展開している、単3形電池2本で駆動するミニカー。基本的には組み立てキットとして販売。1988年より全国規模で公式戦が開催されるようになり、現在は「手のひらサイズのモーターポーツ」「世界最小のモーターポーツ」とも言われる。2008年以降、第3次ブームが続いているとされる。

洋光台すぽおつ  
2014年10月15日発行

洋光台駆動力学研究所  
info@mini4wd.yokodai.yokohama  
http://mini4wd.yokodai.yokohama/  
Twitter: @YokodaiMini4wd

「洋すぽ」は、洋光台駅前SHOP27・1階「いしだ園」などで掲示・配布しています。



http://ishidaen.com/



走行競技会オープンクラス  
優勝車(年齢不詳・大人)



走行競技会オープンクラス準  
優勝・ジュニアクラス優勝車  
(11歳)



走行競技会ジュニアクラス  
準優勝車(7歳)



会場にて初製作(11歳)

### 「みによん！」 会場に集った 栄光のマシンたち (の一部)



会場にて初製作(6歳)



車種を偽装した珍車の参加も  
(26歳)



スタッフ製作デモカーの1台  
(45歳)

## コンクール・デレガンス開催

— 自慢の愛車を「見せびらかしっこ」 —

10月3～6日にかけて洋光台駅前「CCCラボ」で行われた地域活性化ミニ四駆イベント「みによん！」では、走行競技会のほか、車両の「見た目」を追求する「コンクール・デレガンス」(通称コンデレ)なども実施され、さまざまな作品が会場を彩った。

イベント開催期間中、会場内サーキットは走行競技会実施時を除いて無料で開放され、来場者らは、自慢の持ち込み車両や会場で組み立てた初めてのミニ四駆、運営側で用意した貸し出し車両の走行に沸き、談笑し、世代を越えて交流を深めていた。時にはスタッフが製作した数台の展示車両もデモンストレーション走行を披露。東北新幹線を連想させる特別塗

装の車両は、特に幼児たちの人気を集めていた。

#### 地域経済にも貢献

今回のイベントでは会場でのキットや部品の販売は行われず、参加した車両は来場者による持ち込みか、運営が用意したものであった。これらの大半は洋光台や上大岡で購入したものと見られている。「みによん！」は地域経済の活性化にも寄与しているようだ。

#### 次回は年初頃？

ミニ四駆以外にも主催者代表のI氏は「性別、年齢層を問わず楽しめるのがミニ四駆のいいところ」としながらも、「将来的には無線操縦車両を使った競技イベントや、鉄道模型の運転会なども開催したい」と今後の展望に無茶な意欲を見せていた。「みによん！」次回開催は未定だが、年明けにも実現させることを目標に検討中という。

「みによん！」では、初心者を対象としたミニ四駆工作教室も随時実施していた。今回の催しで初めてミニ四駆を知ったという小学生らが近隣の模型屋などで入手した車両キットを持ち込むと、インストラクターの指導で「自力での組み立て」に挑戦。キットを開封した時点では「こんなの、今日中にできあがるのかなあ」と不安そうにしていた一年生も、数

#### 初心者が、あっという間に…

十分後には完成したマシンを得意げに走らせ、事故で破損すれば自分で修理するまでになっていた。また、初めての車両組み立てに難儀していた高学年の参加者は、レース出走も体験してみても課題を認識すると、翌日は自宅で整備した「改造車」を持参してテスト走行。この様子を目の当たりにした父親も、イベント終了後、ミニ四駆にハマったようだ。

洋光台すぽおつ  
2014年10月15日発行

洋光台駆動力学研究所  
info@mini4wd.yokodai.yokohama  
http://mini4wd.yokodai.yokohama/  
Twitter: @YokodaiMini4wd

「洋すぽ」は、洋光台駅前SHOP27・1階  
「いしだ園」などで掲示・配布しています。



http://ishidaen.com/